

# 事務事業評価シート(平成20年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名							
03204	環境保全啓発事業	住民税務課	生活環境係	林 龍太郎	赤羽 博							
		一次評価年月日	平成 21 年 7 月 2 日	連絡先(内線)	2112							
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分				事業コード	事業名(歳出予算見積書)					
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別			0404	環境衛生事業					
	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別			#N/A							
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ		章	(コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境						
			節	(コード選択)	4節	地方分権化に積極的に対応する						
			項[基本施策]	(コード選択)	143	啓発活動と保全活動の推進						
主な取り組み			(コード選択)	1433	地域における環境学習の推進							
関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他			
事務期間		(開始)		年度	~	(終了予定)		年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

ごみの適正処理の推進と屋外焼却防止、飼い犬等の適正飼育等地域の環境美化、快適な生活環境を住民が自らが構築するよう促す。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	ごみの適正処理、屋外焼却防止等環境保全に関する広報
2	区、衛生自治連合会、学校等でのごみの分別収集等の出前講座の実施
3	
4	

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	環境保全に関する広報実施回数		6	12	12	12
	説明	広報たつへの掲載年間の掲載回数。(有線放送での啓発は随時実施)		目標値設定の根拠 ごみ処理施設に関しては毎月掲載。ごみの適正処理、屋外焼却防止、飼い犬等の適正飼育は隔月で掲載。			
②	指標名	出前講座実施数		6	3	10	10
	説明	地区・学校等に出向いて出前講座を実施した数		目標値設定の根拠 (目標値:ごみ処理行動計画に基づき年10回開催を目標)			

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	屋外焼却の苦情があった件数		11	7	5	5
	説明	屋外焼却による煙害苦情で職員が現地に出向いた延べ件数		目標値設定の根拠 苦情は0が望ましいが、例外的に認められる廃棄物の焼却についても煙害等の苦情が発生しているため、0にすることは難しい。			
②	指標名						
	説明			目標値設定の根拠			

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度見込み	平成22年度見込み																
			2,261	2,181	2,062	2,062																
対前年比		%		96.4	94.6	100																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																						
B) 一般財源(税金)																						
		(千円)	2,261	2,181	2,062	2,062																
①事業費		(千円)	106	449	245	245																
対前年比		%		423.6	54.6	100																
②人件費の概算		(千円)	2,155	1,732	1,817	1,817																
対前年比		%		80.4	104.9	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22										
町職員(正規職員)			0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.08	0.08	0.08	0.16	0.17	0.17	0.29	0.25	0.26	0.26	2,155	1,732	1,817	1,817
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0	0	0	0							

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 生活苦情全般については区長会と連携中。犬の適正飼育等は狂犬病事務と連携中。廃棄物の適正処理は、衛生自治連合会と連携中。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし 廃棄物の適正処理は、衛生自治連合会と連携中。 B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 環境全般の苦情は、電話等に対応。(苦情の多くが匿名)

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する   
  イ. 見直しのうえで継続する   
  ウ. 終期設定   
  エ. 廃止   
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

「ごみ・資源物の分別と減量の手引き」を作成中

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

21年度予算見積書への反映  あり  なし

住民間(隣近所等)の生活苦情は行政が関与することは困難。区、衛生組織等との連携を一層深め、地域で解決する方向を見出す。  
屋外焼却で悪質な物は、他関係機関と協議し、罰則適用も検討。

[反映内容]

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

A. 貢献度 大   
  D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

「ごみ・資源物の分別と減量の手引き」を使った出前講座を積極的に地域で展開する中から、地域の課題を地域で検討する機会となればと考える。

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持   
  イ. 見直しのうえで継続する   
  ウ. 終期設定   
  エ. 廃止   
  オ. 休止

b 上記 a~e を選択